

令和2年度入学者選抜学力検査 一般入試（後期日程）  
医学部保健学科：小論文 解答例・出題の意図

問1 この文章に20字以内で題名をつけなさい。(20点)

がんゲノム検査 遺伝情報守る法整備を

問2 筆者は、「がんゲノム医療」の検査にどのような問題点があると述べていますか。200字以内で答えなさい。

(20点)

がんゲノム医療の検査の概要が、国民に十分理解されていない。

がんゲノム医療の検査をしても、最適な薬が見つかるのは1~2割にとどまる。

がんゲノム検査が続くと、医療費のさらなる増大が心配される。

がんゲノム検査によって遺伝性の変異が見つかり、影響は家族にも及ぶ。遺伝情報をもとに、保険加入や雇用において患者への差別が生じる可能性がある。(165字)

問3 筆者は、遺伝情報を「がんゲノム情報管理センター」に登録することでどのような利点があると述べていますか。150字以内で答えなさい。

(20点)

京都大医学部付属病院はじめ、がんゲノム医療を提供する中核拠点病院や連携病院から集められる貴重な遺伝情報は莫大なデータであり、これらのデータをもとに新薬開発の原動力となる。このような取り組みは、欧米との競争力となる可能性が大きい。(114字)

問4 遺伝情報を個人情報として扱うことに関するあなたの考えを500字以上600字以内で述べなさい。(140点)

(出題の意図)

- 保健・医療に貢献したいと考えているか、
- 保健・医療に関する事項について論理的思考ができるか、
- 他人を尊重することができるか、

を判断する。